

平成29年4月5日
JA大潟村営農支援課
大潟村メロン生産班

病虫害防除について

今後は気温も上がり、病虫害の発生が考えられますので下記の薬剤による防除を実施してください。

- ★高温多湿を避け、十分な換気をしてください。
- ★病虫害の発生状況を的確に把握し、必要のない農薬は使用しないようにしてください。
- ★JAの出荷基準(出荷予定者に配布)に従って、使用すること。

※定期防除の施用例

	殺菌剤名	希釈倍率	殺虫剤名	希釈倍率	
	病害名	収穫前日数 /使用回数	害虫名	収穫前日数 /使用回数	備考
1	ダコニール1000フロアブル つる枯病、べと病、うどんこ病	1,000 3/5	モスピラン水溶剤 アブラムシ、アザミウマ類	8,000 3/3	
2	アミスター20フロアブル つる枯病、べと病、うどんこ病	2,000 前日/4	アグロスリン乳剤 アブラムシ	2,000 前日/5	ミツバチに 影響あり
3	ジマンダイセン水和剤 つる枯病、疫病、斑点細菌病	400 7/5	コロマイト乳剤 ダニ	1,000 前日/2	
4	トップジンM水和剤 つる枯病、灰色かび病	1,500 前日/3	スターマイトフロアブル ダニ	2,000 前日/2	

◎薬剤抵抗性害虫の出現と、耐性菌出現を回避するため、同一薬剤の連続使用はさけるようにしてください。

◎今後の防除について

- 1)重点対策…つる枯病、うどんこ病、ダニ
使用時期…一回目・着果後7日～10日後
二回目・防除後10日～14日後
その他・発生状況によりスポットで防除

- 2)重点対策…アブラムシ
使用時期…発生時に重点散布

- 3)その他病害…状況によりスポットで対応

★裏面 使用可能薬剤一覧

メロン病害別使用薬剤

病害名	薬剤名	毒性	倍率	使用時期(収穫前)	回数	備考
つる枯病、べと病の予防	ダコニール1000	普通	1,000	3日	5	うどんこ病・700倍
つる枯病、べと病の予防	ジマンダイセン水和剤	普通	400	7日	5	疫病、炭疽病
つる枯病の発病初期	トップジンMペースト	普通	原液	発病初期	1	<u>発病初期にしか効果はありません。</u>
つる枯病の予発生	トップジンM水和剤	普通	1,500	前日	3	陥没病
つる枯病の発生	ロブラール水和剤	普通	1,000	前日	4	菌核病
つる枯病、うどんこ病	ストロビーフロアブル	普通	2,000	前日	3	べと病 浸透性のある展着剤不可
つる枯病、うどんこ病	ベルコート水和剤	普通	1,000	前日	5	
菌核病の予発生	スミレックス水和剤	普通	2,000	前日	3	
べと病の発生時	リドミルゴールドMZ	普通	1,000	7日	3	
つる枯れ病、うどんこ病の予発生	ポリベリン水和剤	普通	1,500	前日	5	ハダニ類
うどんこ病の予発生	アミスター20フロアブル	普通	2,000	前日	4	つる枯病、べと病 浸透性のある展着剤不可
うどんこ病、陥没病の予発生	トリフミン水和剤	普通	3,000	前日	5	
アブラムシ予発生	モスピランジェット	劇物	くん煙剤	前日	3	くん煙室容積400m ³ (床面積200m ² ×高さ2m) 当り50g
アブラムシ予発生	モスピラン顆粒水溶剤	劇物	8,000	3日	3	(コナジラミ、アザミウマ類) ミツバチに対する影響少ない。
アブラムシ、コナジラミ類 アザミウマ類予発生	アドマイヤー水和剤	劇物	2,000	3日	3	<u>ミツバチに対する影響大。</u>
アブラムシ、ダニ類予発生 アザミウマ類予発生	アーデント水和剤	普通	1,000 750	前日	5	
アブラムシ、コナジラミ類予発生 アオムシ発生時	トレボン乳剤	普通	1,000	3日	4	
アブラムシ、コナジラミ類予発生 ハモグリバエ発生時	ダントツ水溶剤	普通	4,000 2,000	前日	3	<u>ミツバチに対する影響大。</u>
アブラムシ発生時	アグロスリン乳剤	劇物	2,000	前日	5	<u>ミツバチに対する影響大。</u>
ハダニ類予発生	コロマイト乳剤	普通	1,000	前日	2	
ハダニ類発生時	サンマイトフロアブル	劇物	1,000	3日	2	アブラムシ類、コナジラミ類、うどんこ病 <u>ミツバチに対する影響大。</u>
ハダニ発生時	スターマイトフロアブル	普通	2,000	前日	1	
ハダニ類予発生	ダニサラバフロアブル	普通	1,000	前日	2	浸透移行性が無いため、葉の 表裏にまんべんなく散布する。
軟腐病予防	Zボルドー	普通	500	前日	—	他の薬剤との混用はしない。
軟腐病予防	キノドール水和剤40	普通	600	10日	5	斑点細菌病 他の薬剤との混用はしない。
展着剤	アプローチB1		1,000倍			浸透性
	ニーズ		1,000倍			

《注 意》

★ミツバチに対する影響大な薬剤は開花前の使用は避けてください。着果不良の原因になります。

★抵抗性害虫、耐性菌出現を回避するため、同一薬剤の連続使用は避けてください。

★ストロビーフロアブル、アミスター20フロアブルは、浸透性の展着剤を使用すると薬害の危険性あり。

★灰色カビ病・・・多湿の場合に発生が多くなるので、換気を十分に。

ダコニール1000か、ポリオキシリンAL水和剤の1000倍液を発生初期から200L/10a散布。

★黒点根腐れ病・・・リゾレックス水和剤:500倍液を株もと灌注。収穫21日前まで2回以内。